



2026年度 東北地理学会 春季学術大会 プログラム

(東北地理学会 東北大学大学院環境科学研究科 共催)

1. 期 日 2026年5月16日(土)～17日(日)
2. 会 場 東北大学大学院 環境科学研究科 本館(2～4階)
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
3. 日 程

	第一会場			第二会場		
	時刻		発表番号	時刻		発表番号
5月16日(土)	09:30～11:50	研究発表(人文①)	111～116	10:40～11:50	研究発表(自然①)	121～123
	11:50～13:20	昼休み		11:50～13:20	昼休み	
	12:00～13:00	評議会				
	13:20～16:08	研究発表(人文②)	211～216	13:20～16:18	研究発表(自然②)	221～226
	16:30～17:30	総会				
	18:00～20:00	懇親会 ※場所は下記参照				
5月17日(日)	09:30～11:38	研究発表(人文③)	311～315	09:30～12:08	研究発表(共通)	321～326

4. 懇親会 日 時 5月16日(土) 18:00～20:00
会 場 みどり食堂(青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ内)
会 費 6,000円(学生・院生 2,000円)
※ 当日、大会受付または懇親会受付にて、現金でお支払いください。
5. 交 通 仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅 南1出口 徒歩約3分
(仙台駅から乗車9分, 250円)
アクセス方法(環境科学研究科webページ)
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>
6. 宿 泊 仙台市内のホテル等をご利用ください。
7. 昼 食 大学構内のコンビニ等が利用可能です。
※日曜日は最寄りのコンビニが休業のため、持参されることをお勧めします。

① 5月16日(土) 午前

第一会場(人文分野) 発表: 09:30~11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
111	9:30	L 20分	P	磯田弦 (東北大)	友竹紳一郎*(東北大・院)・中谷友樹・関根良平(東北大)	近世絵図に基づく仙台北下町の3次元都市モデル: ルールベース建物生成と可視領域分析
112	10:00	L 20分	P		光本凌大*(京都市大・院)・埴淵知哉(京都市大)	大都市住民の都市認知の差異 — 一手描き地図の分析を通じて —
113	10:30	S 12分	P		三原昌巳(跡見学園女子大)	博物館設置急増期におけるジオラマ展示の特徴と背景
114	10:50	S 12分	P	岩動志乃夫 (東北学院大)	稲葉雅子(東北大)	原子力災害被災地における観光の可能性について — 福島県双葉町の事例から —
115	11:10	S 12分	P		有馬詩織(福島大・院)*・初澤敏生(福島大)	福島県南相馬市における令和3・4年福島県沖地震による被害と企業防災の実施状況
116	11:30	S 12分	P		初澤敏生*(福島大)・有馬詩織(福島大・院)	福島県南相馬市に立地する製造業企業の取引圏

第二会場(自然分野) 発表: 10:40~11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
121	10:40	L 20分	P	古市剛久 (宮城教育大)	野々瀬一毅*(東北大・院)・高橋尚志(東北大)	東北地方における最終氷期の堆積段丘の有無と河川地形量との関係
122	11:10	S 12分	P	大月義徳 (東北大)	奥野充*(大阪公立大)・平田竣也(元大阪公立大・院)・黒木 聡((株)建設技術研)・藤木利之(岡山理科大)・林田明(同志社大)・中西利典(ふじミュウ)・門叶冬樹(山形大)・ホン ワン(KIGAM)・南雅代(名古屋大)	秋田県湯沢市のコケ沼湿原の形成史: 特に浮島について
123	11:30	S 12分	P		吉木岳哉(岩手県立大)	盛岡周辺に見られる墓石材の地域比較・時代変遷

② 5月16日(土) 午後

第一会場(人文分野) 発表: 13:20~16:08

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
211	13:20	L 20分	P	初澤敏生 (福島大)	佐々木蓮(京都市大・院)	行政の除雪サービスを請け負う建設会社の対応と地域住民による補間的実践 — 秋田市御所野ニュータウンの事例 —
212	13:50	L 20分	P		堀本雅章(法政大)	鹿児島県十島村臥蛇島の無人島化への要因
213	14:20	S 12分	P	三原昌巳 (跡見学園女子大)	勝媛媛*(千葉大)・中谷友樹(東北大)・埴淵知哉(京都市大)	在日外国人の居住地選好と国内移動
214	14:40	L 20分	P		山口泰史*(帝京大)・松山薫(武庫川女子大)	中京圏におけるO女子短期大学第三部の創設と学生 — 岩手県出身者へのヒアリングから —
215	15:10	L 20分	P	山口泰史 (帝京大)	山田浩久*(山形大)・山田大貴(島根大)	将来推計人口から見た山形市の構造変容
216	15:40	L 20分	P		阿部隆(元日本女子大)	日本の都市人口 — 大友篤の研究を中心として —

第二会場(自然分野) 発表: 13:20~16:18

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
221	13:20	L 20分	P	奥野充 (大阪公立大)	小元久仁夫(元日本大)	AMSとIRMSで測定した $\delta^{13}\text{C}$ の比較 — ^{14}C 年代の信頼性 —
222	13:50	L 20分	P		北村繁(新潟大)	中米・エルサルバドル東部、ベルリンーパカヤル火山地域のテフラ層序と過去8万年間の火山活動
223	14:20	L 20分	P	西城潔 (宮城教育大)	三宅真太*(東北大・院)・大月義徳(東北大)	福島県西会津地域における地すべりの発生時期と地表面粗度
224	14:50	L 20分	P		阿部一步*((財)日本気象協会) ・大月義徳(東北大)	花崗岩類斜面における表層崩壊後の土層回復 — 宮城県丸森町の事例 —
225	15:20	L 20分	P	目代邦康 (東北学院大)	古市剛久*(宮城教育大)・栃山龍平((株)バスコ)・上田具之(宮城教育大)・緑川さくら(宮城教育大・学)	2025年大船渡市林野火災跡地斜面の地形変化と土砂移動(予察)
226	15:50	L 20分	P		古谷尊彦((株)日さく)	山地形成過程に関する一考察 — 人口改変斜面の変動を事例に —

③ 5月17日(日) 午前

第一会場 (人文分野) 発表 : 09:30~11:38

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
311	9:30	S 12分	P	阿部隆 (元日本女子大)	リンウェイション*(東北大・院)・関根良平・磯田弦(東北大)	日本におけるオーバーツーリズムの研究動向と課題
312	9:50	L 20分	P		杉浦直(元岩手大)	日本におけるオーセンティシティ論の展開 —その特質と課題 (第1報)—
313	10:20	S 12分	P	庄子元 (東北学院大)	岩動志乃夫(東北学院大)	秋田県におけるホップ生産とクラフトビール醸造所の立地
314	10:40	L 20分	P		安食和宏(三重大)	東南アジアのマングローブ林は減少しているのか? エビ養殖池は拡大しているのか? —フィリピン, タイの事例を中心に—
315	11:10	L 20分	P		池谷和信(国立民族学博物館・名誉)	山村における焼畑の変容 —江戸から現在までの熊本県五木村の事例—

第二会場 (共通分野) 発表 : 09:30~12:08

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
321	9:30	L 20分	P	遠藤尚 (東北学院大)	西城潔*(宮城教育大)・庄子元(東北学院大)	名取市愛島地区における竹利用の変遷
322	10:00	S 12分	P		横山貴史*・西城潔(宮城教育大)	塩竈市浦戸諸島における地域資料としての住民所蔵写真収集の取り組み
323	10:20	S 12分	P	横山貴史 (宮城教育大)	高橋信人*・金子浩一(宮城大)	「地理総合」におけるフィールドワーク実施状況とその関連要因
324	10:40	L 20分	P		榎引素夫(青森大)	青森市の雪問題にどう向き合うか—論点の俯瞰と「マップ」づくりの試行
325	11:10	L 20分	P		岩船昌起(鹿児島大)	岩手県山田町A寺における東日本大震災資料の定量的な検討 —法要等の業務量等の時系列的な変化に注目して
326	11:40	L 20分	P		黒木貴一(関西大)*・木本浩一(関西学院大)	仙台平野における自然災害伝承碑の成立過程を踏まえた神社の持続可能性

※研究発表 L : 発表時間20分+質疑時間8分 S : 発表時間12分+質疑時間8分 * : 口頭発表者
P : プロジェクター使用